

<先週の説教から>

『ルカ 28— 霊の力に満ちてガリラヤへ』

イザヤ 8:23~9:5 ルカ福音書 4:12~21

武田真治牧師

ルカ福音書の連続講解説教を続けて、4章の冒頭にある《荒野の誘惑》についても詳しく読み進めてきましたが、今回で最後です。イエス様は、悪魔から三度の誘惑をお受けになられるのですが、イエス様を空腹にしたり、高みから国々の繁栄を見せたり、エルサレム神殿の屋根に連れて行ったり色々なことを仕掛けていますが、結局、三つとも「神の子なら〜したらどうだ。」と最後は“言葉”で誘惑しています。

考えてみれば、私たちも“言葉”によっていかに振り回されていることでしょうか。他人からの悪意ある言葉や批判の言葉にどれだけ苦しめられて来たでしょうか。隣りにいる人の何気ない言葉によって落ち込んでしまうことも。言葉の持つ影響力は大きく、悪魔はそれをよく分かっているのです。

イエス様の妻さは、その悪魔の言葉を遮ったり、全く聞かなくされたのではなく、逆に言葉で答えられている点です。しかも『人はパンだけで生きるものではない』と書いてある』『ただ主に仕えよ』と書いてある』『主を試してはならない』と言われている」と三度とも聖書の言葉で切り返しておられます。自分の考えや思想を語っておられません。それなら、また悪魔はその考えや言葉に付け込んで来るでしょう。創世記3章でヘビがエバの考えを言わせた上で、その言葉の矛盾について、思いのままコントロールして行ったように！

イエス様が聖書の言葉で「〜と書いてある」と言われているのは、この言葉を信じ、この言葉に“自分は立つ”という《覚悟》を示しておられる言い方なのです。それ故、もはやそれ以上、悪魔は突っ込むことが出来なかったのです。このイエス様の対応こそ私たちは学ぶべきでしょう。もはや、悪魔はそれ以上の誘惑を止めるしかなかったのです。

ただ、悪魔は「時が来るまでイエスを離れた」（13節）のでした。完全に敗北して二度と現れなくなったのではなかったのです。いずれまたイエス様を誘惑するために来ると。その際の「時」といつでしょうか・おそらくそれは《十字架の

時》であろうと考えられます。それは、この《荒野の誘惑》で、イエス様がひとりで居られた時＝孤独であった時に悪魔が来たように、《十字架》に向かわれる道行きこそ、弟子たちすべてに見捨てられ、誰も共に歩く者がいなくなる時だからです。これこそ気を付けなければならない点です。私たちにも《孤独に陥る時》にこそ、悪魔が“誘惑の言葉”を掛けて来るのです。そして、ついフラフラと乗ってしまうのです！

イエス様ご自身が、孤独に陥られた時に悪魔の誘惑を受けられ、その厳しさと恐ろしさを経験されたからこそ、私たちに対して『人が独りであるのは良くない』『わたしがあなたと共にいる』とおっしゃってくださるのです。そのために、天から聖霊を注いでくださるのです。独りぼっちになるとつまらないことを考えてしまう私たちを憐れんでください！

\*\*\*\*\*

【今週の集会】

\*聖書研究・祈祷会 I. 11月27日(水) 20:00  
II. 11月28日(木) 10:30

聖書研究: ローマの信徒への手紙

祈祷主題: アドヴェント・チャペルコンサートを覚えて

担当者: (水)中村 (木)大野

祈りに覚える人: 栗原さん 小岩さん

\*ひつじ雲の会 11月26日(火) 13:30~

【教勢報告】

主日礼拝 男20 女47 計67  
祈祷会 I. 男3 女1 計4 II. 男2 女7 計9  
日曜学校 幼稚科5 小中科7 計12

\*\*\*\*\*

【次週礼拝】\*待降節第一主日 12月1日(日)

聖書: イザヤ書 61:1~4

ルカによる福音書 4:12~22

説教: 「ルカ28—郷里の人たちとイエス様」  
武田真治牧師

讃美歌: 242(1)、231(1)、32、聖歌隊229、  
414、289、79(1~2)、83(1)

【次週当番表】

司式: 相浦長老 奏楽: 羽倉長老 礼拝: 保坂長老

配餐: 金刺 金刺 齋藤 保坂 各長老

献金: 藤林 北條 受付: 西尾 森本

会堂準備: 浅井 阿部 齋藤 山田

看板: 保坂 週報: 岩佐 お花: 森本

【次週集会予定】

礼拝前: ・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後: ・チャペルコンサート 会堂管理委員会

# 週報

2024年度 教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

2024年 11月 24日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549

<http://www.ageo-church.org/>